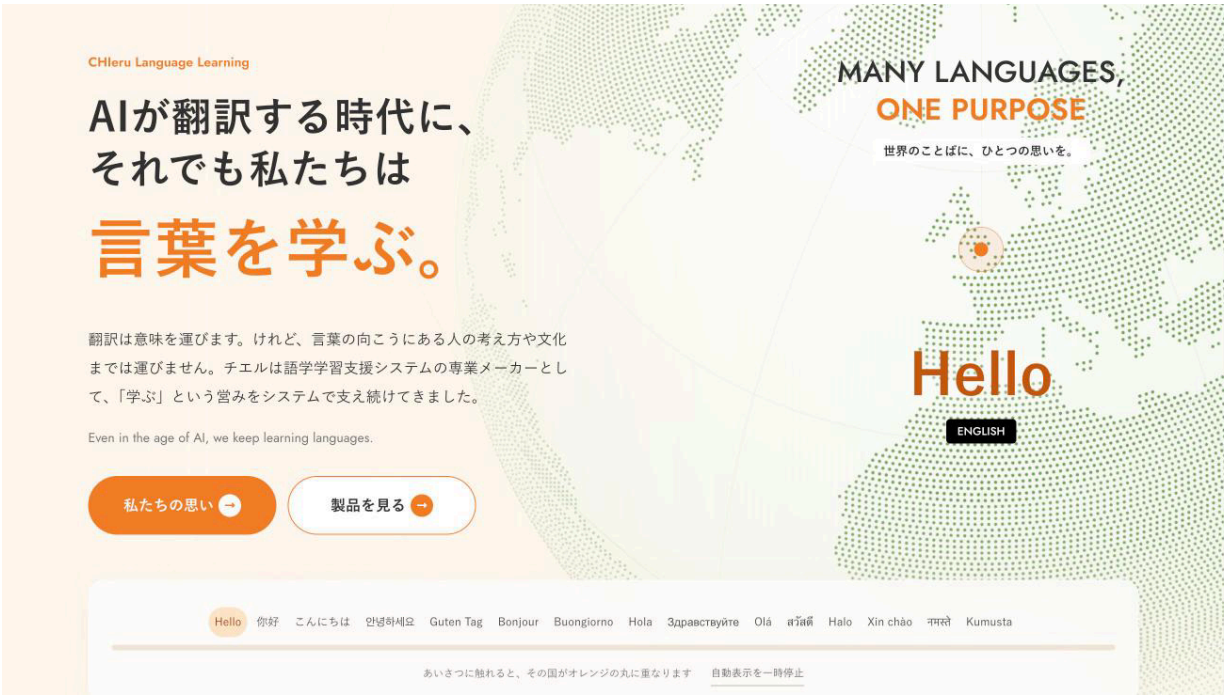
CHIeru ＜Press Release＞

2026年11月17日
チエル株式会社

チエル、語学学習特設サイト「CHIeru Language Learning」を開設
～AIが翻訳する時代に、あらためて「言葉を学ぶ」価値を発信。創業以来の語学教育への取り組みと、製品・活用事例・歩みを日英2言語で紹介～

学校教育におけるICT利活用を支援するチエル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：川居 睦）は、2026年11月17日（火）に、語学学習特設サイト「CHIeru Language Learning」を日本語・英語の2言語で開設いたしました。

本サイトは、生成AIの普及によって言語の壁が急速に低くなりつつある今、あらためて「言葉を学ぶこと」の価値を問い直し、1997年の創業以来、語学の学びをシステムで支え続けてきた当社の考え方をお伝えするものです。これまで製品ごとに分かれていた語学関連製品の情報を「学びの場面」から選べるように整理し、導入校での活用事例と、創業からの歩みもあわせて一覧できるようにしました。



■ 開設の背景

生成AIの普及により、外国語の文章や会話は誰もが手軽に翻訳できるようになりました。しかし、翻訳が運ぶのは「意味」であり、その言葉の向こうにある相手の文化や考え方までは運びません。

AIが訳してくれる時代に、語学学習は不要になるのか。当社の答えは、はっきりと「いいえ」です。言葉は、その文化へのいちばん近い入口です。そして語学は才能ではなく反復によって身につくものであり、その反復を支えることこそがシステムの役割だと考えています。

当社の語学関連製品は、大学・高校のCALL教室向けシステムから、BYOD・クラウド対応の4技能学習、検定対策、英語ニュースによる多読・多聴、在留外国人向けの日本語学習まで多岐にわたります。一方で、これまでは製品ごとに情報が分かれており、先生方が目的に合った製品を見つけにくいという課題がありました。こうした背景から、AIが当たり前になった時代における「学ぶこと」の価値と、その学びを支える当社の考え方・製品を、一つのサイトで発信することといたしました。

■「語学のチエル」の原点と、広がる事業領域

当社は1997年10月に創業いたしました。2008年に発売したフルデジタルCALLシステム『CaLabo® EX』は、音声をリピートするだけの環境から、インターネットを使った情報検索や、動画・テキスト・音声を組み合わせたマル

チメディア学習、ネットワークを通じたペアワークへと語学教育を大きく変え、現在ではシェアNo.1のCALLシステムとして全国の大学・高校で活用されています。また、2008年以降は韓国・米国・アジア各国の販売パートナーとの契約を通じて海外にも販路を広げ、コロナ禍以前には世界20か国余りに自社開発製品を提供してまいりました。

2019年には、学生個人のPC（BYOD）やスマートフォンに対応したクラウド型の英語4技能学習システム『CaLabo® MX』を発売し、教室の外にも語学学習の場を広げました。2025年には英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語など13言語に対応し海外の教育機関でも利用できる体制を整え、2026年にはAIによるシャドーイング自動採点を強化しています。さらに同年10月には、在留外国人の日本での就学・就労を支援する日本語学習サービス『ABLish® 日本へGO！』の提供を開始しました。

一方、小中学校では、GIGAスクール構想を機に、Chromebook活用支援の「InterCLASS®」シリーズや、Webフィルタリングサービス『InterCLASS® Filtering Service』、無線通信の可視化・安定化ソリューション『Tbridge®』などへと事業領域を広げてまいりました。2026年には、先生の働き方改革と学校全体のDXを支援する学校DXソリューション「TeachGear」シリーズを新たに発売し、公用スマホツールや週案ツールを提供しています。現在では全国960以上の教育委員会、2,100校以上の高校・大学・高専で当社製品をご利用いただいております（2026年3月時点）。

事業の柱が広がった今だからこそ、当社は創業時の思いに立ち返り、「語学の専門メーカー」として語学を学ぶことの重要性と、システムを用いた学習がもたらす成果を、より広く社会に発信してまいります。

■ 特設サイトの主な内容

1. 学ぶ理由

「AIが翻訳する時代に、それでも私たちは言葉を学ぶ。」をテーマに、「言葉は、その文化へのいちばん近い入口である」「システムで学ぶことがとても大事である」という当社の考え方をお伝えします。

2. 学びの場面から選べる製品紹介

教室でのCALL演習から、手のひらでの4技能学習、多読・多聴、検定対策、日本語学習まで、学びの場面ごとに最適な製品を選べるよう整理しました。

・大学・高校の**CALL**システム：『**CaLabo® EX**』
シェアNo.1のCALLシステム。新しいデザインと機能でバージョンアップ
・教室とスマートフォン・**BYOD**での**4**技能学習：『**CaLabo® MX**』
聞く・話す・読む・書くをAI自動採点で支えるクラウド型の語学学習支援システム
・英検対策：『旺文社 英検®**CAT**』
CATエンジンにより学習者の英語力に応じた学習を進められるクラウド型英検対策教材
・多読・多聴クラウド型英語ニュース教材：『**ABLish®**』
英語のニュースを「読む・聞く」クラウド型英語ニュース教材
・多言語対応日本語学習サービス：『**ABLish®** 日本へ**GO**！』
在留外国人向けの多言語対応 日本語学習サービス

3. 導入校での活用事例　～システムを用いた学習の成果～

大学・高専・高校の先生方が、それぞれの「言葉を学ぶ理由」と、システムを活用した授業の成果を語ったウェブマガジン記事8件と動画2本を掲載しています。

・大阪府立都島工業高等学校：シャドーイングのAI自動採点により発音と話す力が向上し、音読テストの評価業務も軽減
・近畿大学 生物理工学部：CALL教室の更新を機にBYODへ転換。自動採点で学習成果を数値化し、3カ月程度で高得点の学生が増加
・追手門学院大学：英語ニュース教材を題材にした授業で、TOEIC® L&Rスコアの上昇とともに異文化理解力や思考力を育成
・広島市立舟入高等学校：英語音声の自動生成により、ALTへの録音依頼が不要に。導入5年目で生徒の主体的な学習が定着

・このほか、上智大学、摂南大学、仙台高等専門学校、サビエル高等学校、科学技術学園高等学校の事例を紹介

4. チエルと語学教育の歩み

CALL教室の時代、教材・コンテンツの拡充、そしてBYOD・クラウド・AIの時代まで、語学の学び方の変化とともに歩んできた当社の約30年を年表で紹介しています。

5. 日本語・英語の2言語で公開

英語版ページも同時に公開し、海外の教育機関や販売パートナーに向けても、日本の語学教育で培った製品と実践を発信します。

■ 今後の展開

当社は今後、語学学習支援システム「CaLabo®」シリーズに生成AI技術を組み込み、より効率的で実践的な語学学習の実現と、先生方の働き方改革の両立を目指してまいります。また、2026年11月にシンガポールで開催された「EDUtech Asia 2026」への出展をはじめ、コロナ禍で縮小した海外との取引を再拡大し、語学関連システムを中心とした海外への販路拡大を図ります。

本サイトを、国内外の教育機関や販売パートナーの皆様との新たな接点と位置づけ、活用事例や製品情報を継続的に更新してまいります。「子供たちの未来のために、世界中の先生をICTで支える」という企業理念のもと、「語学力を身につけて世界とコミュニケーションを図りたい」と願う学習者と、その隣にいる先生をこれからも支えてまいります。

■ 特設サイト概要

サイト名　：CHIeru Language Learning（語学学習特設サイト）
公開日　　：2026年11月17日（火）
URL（日本語）：https://www.chieru.co.jp/learning-languages/
URL（英語）：https://www.chieru.com/learning-languages/
主な掲載内容：学ぶ理由、語学学習関連製品（5製品）、導入校での活用事例、チエルと語学教育の歩み

チエル株式会社
「子供たちの未来のために、世界中の先生を ICT で支える」という企業理念のもと、シェア NO.1 のフルデジタル CALL システムやフルクラウド授業支援システム、クラウド型教材配信サービスなどを開発しワンストップで提供する、教育市場に特化した ICT 専業メーカーです。

【会社概要】
会社名　　：チエル株式会社【東証スタンダード・コード番号：3933】
代表者　　：代表取締役　川居 睦
本社所在地：東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー22F
設立　　：1997年10月1日
資本金　　：3.36億円
事業内容　：教育ICT事業
ホームページ：https://www.chieru.co.jp
※CaLabo、ABLish、InterCLASS、Tbridge は、チエル株式会社の登録商標です。
※英検は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。
※TOEIC は、ETS の登録商標です。
※Chromebook は、Google LLC の商標です。
※記載されている会社名および商品名は各社の商標もしくは登録商標です。
※本リリースに記載された将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の結果は様々な要因により異なる可能性があります。
※記載の内容・仕様などは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

取材に関するお問合せ先
チエル株式会社　プロダクトマーケティング部（広報担当）　E-mail：tm-pr@chieru.co.jp

製品に関するお問合せ　https://www.chieru.co.jp/mailform/inquiry/